

## 2025・2026年度 公共ホール音楽活性化事業

### 登録アーティスト募集要項

#### ■ 募集趣旨

公共ホール音楽活性化事業を実施するため、事業趣旨に賛同するクラシック音楽の新進アーティストを募集します。

#### ■ 選考日程

##### [第1次選考]

内 容：書類と音源（YouTube）による予備審査  
応募締切：2024年4月12日（金）

##### [第2次選考]

内 容：ライブ演奏及びトークによる本審査  
日 程：2024年6月13日（木）、14日（金）  
会 場：トッパンホール  
合格予定数：6～8名／組 程度

#### ■ 募集ジャンル 及び 応募条件

##### ◆ 募集ジャンル

ピアノ、弦楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、クラシックギター、ハープ）、管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ）、声楽（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）、打楽器（マリンバ含む）、クロマティックハーモニカ、クラシックアコーディオン

##### ◆ 応募条件

##### [ソ リ ス ト]

年齢条件(声楽以外)：2025年4月1日時点で 満20歳以上35歳以下  
年齢条件(声楽)：2025年4月1日時点で 満20歳以上40歳以下

##### [アンサンブル]

編成条件：

- ・五重奏まで。（登録後のメンバー変更はできません。）
- ・弦楽四重奏、ピアノ三重奏（Vn、Vc、Pf）、木管五重奏、サクソフォン四重奏のように、その編成のために書かれたオリジナルの楽曲が多くあり、多様なコンサートプログラムを組める編成であること。

- ・ピアノを含む編成の場合は、ピアノも伴奏者でなく固定メンバーであること。  
(たとえば、Vnデュオなどピアノ伴奏の共演を前提とした編成の場合も、ピアノ奏者を固定メンバーとした編成となります。)

年齢条件：2025年4月1日時点で 平均年齢満35歳以下

(ただし、満20歳以上37歳以下のメンバーで構成されていること。)

#### ◆ その他条件等

- ・電子楽器は対象外とし、原則としてPA設備を使用せずにプログラムを組める楽器とする。
- ・ご自分の楽器を持ち運んで活動できること。(学校や福祉施設等へ出向いて実施するプログラムを含むため、派遣先のホール・学校等間の移動が容易な楽器に限ります。)ただし、ピアノは除く。
- ・2024年9月17日、18日に地域創造で実施するアーティスト研修会や2025年度と2026年度のプレゼンテーションをはじめとする当事業のスケジュールに対応可能であること。

(別紙「選考から派遣までの流れ」参照)

#### ■ 応募手続

応募者は、下記 URL リンク先地域創造ホームページ内の応募用紙に必要な事項を入力の上、YouTube に限定公開にてアップロードした動画の URL と併せて、応募フォームより送信してください。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01>

※Google アカウントが必要になります。



地域創造応募フォーム  
QR コード

#### ◆ 提出音源 (音源のみの審査となります。映像の有無は、審査に影響しません。)

- ・曲目指定なし。ご自分の実力を示すことができる曲を3曲程度提出すること。
- ・第1次、2次選考ともに自作曲は不可 (出版されている曲に限る)。
- ・提出日より2年以内に録音/録画した音源であること。
- ・全曲を通して一つのトラックとすること。
- ・録音/録画機器の音声ボリュームの自動調整機能は使用しないこと。
- ・審査合否の通知があるまで削除はしないこと。また、合否通知到着後は各自で削除すること。

\*YouTube への動画アップロード方法は公式ヘルプページを参照してください。

<https://support.google.com/youtube/answer/57407?hl=ja&co=GENIE.Platform%3DDesktop>



YouTube 公式ヘルプページ  
QR コード

## ■ 選考料

無料。ただし、第2次選考における会場までの旅費（交通費、宿泊費）、食費、共演者への謝礼等その他一切の経費は自己負担となりますのでご注意ください。

## ■ 選考方法

### [第1次選考]

書類と音源をもとに選考いたします。選考結果は2024年5月下旬頃に、可否に関わらず応募者本人に直接通知します。

### 審査員 [敬称略]

園田 隆一郎（指揮者、藤沢市民オペラ芸術監督、パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者）

久元 祐子（ピアノ奏者、国立音楽大学・大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト、日本ラトビア音楽協会理事、PTNA(全日本ピアノ指導者協会)評議員)

仕田 佳経（一般財団法人地域創造ディレクター、公共ホール音楽活性化事業コーディネーター）

### [第2次選考]

第1次選考合格者を対象に実施します。

1～2曲程度の演奏（約10分間）と応募動機、当事業での抱負等についてのトーク（約5分間）をしていただいた後、質問をいたします。演奏順、会場への経路については、第1次選考合格通知に同封の資料を参照願います。

### 審査員 [敬称略]

園田 隆一郎（指揮者、藤沢市民オペラ芸術監督、パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者）

久元 祐子（ピアノ奏者、国立音楽大学・大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト、日本ラトビア音楽協会理事、PTNA(全日本ピアノ指導者協会)評議員)

長谷川 陽子（チェロ奏者、桐朋学園大学准教授、桐朋学園大学音楽学部子供のための音楽教室茨木教室長）

杉木 峯夫（トランペット奏者、東京藝術大学名誉教授、日本トランペット協会会長、(公社)日本演奏連盟専務理事)

喜多 弘悦（(株)ザ・シンフォニーホール取締役ゼネラルマネージャー・音楽総監督、(一社)日本クラシック音楽事業協会副会長)

赤木 舞（武蔵野音楽大学准教授、公共ホール音楽活性化事業コーディネーター）

ター)

仕田 佳経 (一般財団法人地域創造ディレクター、公共ホール音楽活性化事業  
コーディネーター)

◆ 選考に当たっての留意事項

事業趣旨に鑑み、音楽的・技術的な能力はもちろんのこと次の点についての意欲を考慮して選考します。

- ・地域に音楽を楽しむ環境をつくるため、コミュニティとの交流を積極的に行う意志とアイデアがあること。
- ・当事業のスケジュールに柔軟に対応できること。
- ・多様な客層に対してアプローチできるプログラムが組めること。

■ アーティストの登録

2次選考合格者(6～8名/組程度)に対しては、基本的な登録条件などについて合意した後、2025・2026年度の当事業のアーティストとして登録いたします。登録に際しては、マネジメントに所属していただくことになります。なお、地域創造では、登録アーティストを紹介する冊子(プロフィール集)を作成し、事業実施ホールなどの関係団体に配布・紹介する予定です。

■ その他

アーティストが地域に派遣される際は、共演者も含めて、当財団の旅費規程に基づいた交通費及び宿泊費、並びに一定額の出演料をお支払いします。